

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024 年 10 月 2 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	文学部史学地理学科アジア史専攻
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2024 年 8 月 24 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校 (日本語名) University of California, Berkeley(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	English/English
留学期間	2024 年 5 月～2024 年 8 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 1 月上旬～5 月 2 学期: 8 月上旬～12 月中旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	約 45,000
創立年	1868

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (\$)	日本円	備考
授業料	6,847	円	10units
宿舍費	6,513	円	・Application Fee \$53(\$50+\$3) ・Full Summer Payment \$6,460
食費		円	
図書費	0	円	教科書は購入しませんでした
学用品費	4	円	コピー代・試験用紙
携帯・インターネット費	79.77	円	・Mint Mobile unlimited3ヶ月 ・Tello3週間
現地交通費	70	円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	400	円	旅行時含め total
医療費	0	円	
保険費		27,060 円	形態: 明治大学指定の保険(3ヶ月)
渡航旅費	997	150,272 円	
ビザ申請費	535	円	sevis・visa 申請費用
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計		3,000,000 円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地: NRT 目的地: SFO 経由地:

復路 出発地: LAX 目的地: NRT 経由地:

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社: Zipair 料金: 75,272

復路 航空会社: Singapore Air 料金: 75,000 ∴合計: 150,272

航空券購入方法

旅行代理店(店名:)

インターネット(サイト名:)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)

学生寮(寮の名前: International House) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 0)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

昨年留学した先輩の何人かに連絡しましたが、ほとんどの明治大学生は ihouse に stay すると思います。

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

最高の寮だと思います！ ダブルルームで申し込みましたが、最後までルームメイトが来なかったです。ルームメイトがいるかないかについては、ポジティブな面とネガティブな面、両方あると思うので、よく検討した方がいいと思います。ご飯については私はとても満足していました(日によって食べれるものがほとんどない、、、という時もありましたが)部屋には AC はないですし、気温の変化が激しいので服装で調節&ミニ扇風機は持ってくると便利だと思います(私はいらなかったです)Berkeley は乾燥するので体調に気をつけてください！

私はダイニングホールで最高で 3 時間過ごすことはザラでした笑ルームメイトがいない私にとってコミュニケーションの場でしたし、ここで積極的に他の留学生と絡むことでたくさん友人を作ることができました。また、RA が開催してくれたイベントにはほとんど行きました。そこでも友人を作るきっかけにもなりまし、何より ihouse の周りは自然豊かなので東京では味わうことのできない貴重な経験だったと思います！

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: 部屋でひたすら寝た)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

昼間は問題はないが、基本的に 21 時以降は 1 人では外出しなかった。毎回 Downtown Berkeley に行く時は自然と緊張感を持ちます。アメリカに到着して 3 日経った日の昼間、歩いていたバナナの皮を後ろから投げられたのが思い出です。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮と大学で使用できる Wi-Fi は問題ない。また、私は Mint Mobile の esim を unlimited で使用した。通常時は問題ないが、旅行で Yosemite や Grand Canyon に行った時にはほとんど使えなかったので少し困ったが、デジタルデトックス、、、。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを 2 枚と現金 500 ドルほど持っていった。予め自分の銀行口座に預金してもらったので現地で困ることはなかった。現金はお店ではほとんど使えないが、友達と割り勘する際に必要になったので、ある程度は持っていた方が絶対に良い。また何故かわからないが Clipper card のチャージにクレカが使えなかったため、現金が必要だったが 100 ドル札は使えなかった。あるいは、PayPal を使うことが多かった。日本のカードでは Venmo は使えないので注意!

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

- ・ジムウェア・下着や靴下
- ・インスタントの日本食、スナック、龍角散(あればあるほど良い)
- ・洗剤(食器用洗剤をアメリカで買いましたが強すぎて水筒に匂いが残り不快で使わなくなってしまいました)
- ・デジタルカメラは持っていくと便利、必ず役に立つと思います。
- ・洗濯物を入れる大きな袋
- ・I20
- ・ミニメッセージカード(友達に渡すときに役に立ちました!)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

クレジットカードでの支払い

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Field Study of Buildings & Cities	
科目設置学部・研究科	
履修期間	session A
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 480 分が 1 回
担当教授	Seth Lunine
授業内容	Berkeley/San Francisco/Oakland の街を 1 日かけて歩きながら先生が都度解説する。master の生徒が多く、建築に関して(種類・歴史)は多少 academic。San Francisco の人種問題、gentrification はとても興味深く、課題も理解するのに十分な量だった。
試験・課題等	予習の reading をしっかりこなさないと授業の内容についていくのが少し難しい。課題自体は難しくない。
感想を自由記入	先生はとても優しく、フレンドリー、オフィスパワーでも丁寧に対応してくれる。授業は 9:00-17:00 と長いように感じるが、留学としてその街の歴史や街並みの雰囲気、社会課題について学ぶことができたことは非常に有益だと感じた。1 週間に 1 日の授業なので、授業以外の生活も充実して過ごすことが出来た。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Broadway Musicals	
科目設置学部・研究科	
履修期間	Session D
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 150分が 2回
担当教授	David Frasca
授業内容	Broadway Musicalを取り扱う(Hair, Rent, West Side Story, Hairspray, Showboat, Oklahoma, A choRus line, Chicago, Funny girl)が主に、演出や振付、賞獲得の軌跡など 最後の授業で San Francisco で Broadway 観劇
試験・課題等	毎週、ミュージカル映画を1・2本見て critics を書く。 期末テスト+ミニプロジェクト
感想を自由記入	West Side Story が大好きで(+スケジュール調整の関係)この授業を選びましたが、思った以上に演劇に関する知識が必要になったため、授業に追いつくのが大変でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Critical Issues in Global Studies	
科目設置学部・研究科	
履修期間	Session D
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 150分が 3回
担当教授	Devin Thomas Leigh
授業内容	Tue: 750words レポート、授業 Wed:授業、映像、map quiz Thu: reading に関するレポート、discussion
試験・課題等	毎週予復習が大変でしたが、授業内容としては非常に興味深く、global studies に興味がある学生にとっては非常に身のある授業だと思います。しかし、課題をしっかりこなさないと、何も見ないでレポートを書く&discussion に追いつくのは大変です。Berkeley
感想を自由記入	毎週予復習が大変でしたが、授業内容としては非常に興味深いため、global studies に興味がある学生にとっては非常に実のある授業だと思います。しかし、課題をしっかりこなさないと、何も見ないでレポートを書く&discussion に追いつくのは大変です。Berkeley の生徒は discussion に長けているので、自分の意見を常に持つ、それを英語に直す訓練をすると良いと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Food for Thought	
科目設置学部・研究科	
履修期間	Session F
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Peter B Vahle
授業内容	プレゼンテーション作成、Field trip
試験・課題等	プレゼンテーション
感想を自由記入	英語が第二言語学習者に向けての授業なので、授業内容としては容易です。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他: 休学

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

留学の間、1 社にはインターンの応募をしました。4 年生で就活の終わった友人がいたため、添削を重ねてもらい、無事 ES は通りました。しかし、毎週末旅行に行き、weekday は授業の予復習に追われていたため、ES 通貨のメールの通知に気づかず、連絡が来ないと思った時には適性検査の受検期日を過ぎていました。そのため、就活との並行を考えている 3 年生にはスケジュールの調整を念入りにお勧めします。また、説明会は朝の 3 時か 4 時からが多く、途中で断念しました。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

前から休学という選択肢は視野に入れていましたが、ある程度の勇気の必要な考えだったので、心にしまっていました。しかし、Berkeley で出会った留学生や現地生に触発されて大学在学中にやり残すことがないように全部 try してみようと決めました。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	スコア獲得
	4月～7月	
	8月～9月	スコア獲得
	10月～12月	10月:応募書類を作成・提出 / 12月:学内選考結果発表
留学開始年	1月～3月	寮の申請・パスポート更新
	4月～7月	ビザ取得・航空券購入・保険申請
	8月～9月	
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

・留学しようと決めた理由

私は日本以外のさまざまな国のの人々と共に生活をし、多様なトピックについて意見を交わすことに興味がありました。特に、異なる生活様式や社会の仕組みが人々の考え方や価値観にどのように影響を与えるのかを実際に体感したいと考えていました。そのため、日本以外の多様な文化に触れ、異文化理解を深めたいという強い思いから、この留学を決意しました。また、特に史学を専攻し、国際関係についても学んでいるため、ディスカッションを通じて日本人とは異なる視点、考え方に強い関心を持っていました。パークレーは、アメリカの大学の中でも、世界中から勉強意欲の高い学生が集まり、学術的なレベルの高さはもちろん、多様な文化が融合する国際的な環境だと聞いていました。また、東京と東海岸にあるニューヨークには類似点があると言われてはいますが、その一方で気候や人々の雰囲気は全く異なるベイエリアに住んでみたいという思いがありました。また 3 年から本格的に始まる就活との両立を考慮して、3 ヶ月という短い期間でのプログラムも魅力的でした。

・留学のためにした準備・後悔

留学の準備として特別なことはしていませんが、現地に知り合いがいることは非常に大きなアドバンテージになると感じました。実際に、私を含め明治からパークレーに行った学生の多くはアメリカに住んでいる知り合いがいました。折角アメリカに留学に行くのであれば彼らと共に滞在し旅行ができ案内してもらえと思うので明治に留学している留学生などと交流の機会を持つのがいいと思います。←また、広大なアメリカ、特にロサンゼルスは車での移動が必須となるため、国際免許を取得しておくべきだったと後悔しています。自分が運転をする予定がないにしても、国際免許を持っていることで、旅行に友人を誘う時など気兼ねなく、かつ計画が容易に進められると思います。

母国語ではない言語を話すことは、精神的も体力的にも負担になることがあると思いますが、会話をすることを恐れずに積極的にコミュニケーションをとってください。国籍が違うだけで日本にいる友人と全く変わりません。すれ違うときに「Hi」と一言をかけてください。沢山の友人を作りたいのであれば、可能な限り全てのイベントに参加するのがいいと思います。「一期一会」を大切に、自分が仲良くしたい、自分の仲良くしようとしてくれる人を大切にしてください。

私はひよんなことで仲良くなった友人にホームパーティーに誘われたこともありました。何事にも積極的に、かつ楽しんだもの勝ちだとおもいます。パークレー・そして international house での生活は物凄く楽しくて刺激的かつ productive なものになると思います。